

アル・アクサ洪水第776日目：抵抗勢力が国連安保理決議枠組みを拒否する中、イスラエル兵士がヨルダン川西岸地区作戦で死亡

Palestine Chronicle, 2025年11月18日、脇浜義明訳 *脚注は訳注



ガザ地区全域で避難を余儀なくされた数十万人のパレスチナ人の生活環境は、すでに深刻な状況にあるが、氷点下の気温と豪雨によりさらに悪化している。(Photo: via QNN)

主要事項

*パレスチナ抵抗勢力各派は米国提案の安保理決議枠組みを拒否した。それはパレスチナの核心的問題に触れず、ガザ回廊の外国による統治を制度化するものと非難した。

*ガザの現地状況は、避難に次ぐ避難、疫病、冬の寒さなどで人道的惨状がますます悪化している。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍攻撃の犠牲者数は、死者69,483人、負傷者170,706人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

11月19日 1:33am

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルが地域の反体制勢力を全滅させるか、イスラエルの進む道の邪魔になる無数の民間人を抹殺するから、あるいは反対にイスラエルが軍事的に壊滅するかして、とにかくガザの苦しみがやっと終わった時には、国連は、前の国際連盟と同じように解散すべきであろう。国連は、国際連盟と同じように、失敗したプロジェクトである。何か別の新しいものに変えるべきである。[ロバート・インラケシュの小論](#)を読みたい。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員によれば、イスラエル軍機がいわゆる「イエローライン」背後になるガザ市の東を攻撃した。

11月19日 12:00am

*パレスチナ／クロニクル：パレスチナ・クロニクルのポッドキャスト [FloodGate](#) でラムジー・バルードが、決議2803号は軍事占領から以前の信託統治に逆戻りさせるだけと論じている。

11月18日 11:45pm

*パレスチナ・クロニクル：今夜、イスラエル軍はシドン市のアイン・エル・ヒルウェ難民キャンプを空爆、11人が死亡し、4人が負傷した。

*ヨルダン外務省：ヨルダン政府は、イスラエル過激派がアル・アクサ・モスク敷地内にユダヤ教の犠牲の儀式を持ち込もうとしたことを非難した。

*パレスチナ・メディア：イスラエル人入植者は、トゥムサイヤ、ミフマス近くのハラート・アッシドル地区、ナブルス南の街路など、西岸地区のいくつかの地域で、パレスチナ人の家屋や車両の破壊行為を行った。

11月18日 9:59pm

*パレスチナ・クロニクル：今日、西岸地区トゥルカレムの東方のヌール・シャムス難民キャンプ近くでパレスチナ人の抗議デモ取材していたパレスチナ人カメラマンが、イスラエル軍によって射殺された。

11月18日 9:52pm

*パレスチナ・メディア：地元情報によれば、イスラエル軍はガザ市東部とジャバリヤを砲撃した。

*イスラエル・メディア：ネタニヤフ首相は、イスラエルはすべての戦線で戦争を継続し、ハマスを武装解除する決意だと述べ、イスラエルはイランを攻撃したが、「さらに攻撃する準備がある」と付言した。

*アル・ジャジーラ：ナセル総合病院の小児科・産科のアハメド・アル・ファラー部長は、ガザの状況は壊滅的で、医療、教育、自治体システムが崩壊したと述べた。

*エジプト大統領府：エジプトのエル・シーシ大統領と英国のスターマー首相の電話会談が行われ、両者は、国連安保理決議を受け、停戦の確実な実行、援助物資の円滑な流入、復興活動の開始の動きを活発化することで意見一致した。

11月18日 7:46pm

*PFLP：パレスチナ解放人民戦線 (PFLP) は、グーシュ・エツィオンの戦いは入植者の暴力継続に対する当然の反撃であり、包括的な抵抗こそが解放と故郷への帰還の唯一の道であると述べた。

*ハマス声明：ハマスは、グーシュ・エツィオンの軍事行動はイスラエルの継続する攻撃への報復であり、パレスチナ人には自衛の権利があり、イスラエルの攻撃が続けば必ず抵抗があるぞと述べた。

*パレスチナ・メディア：イスラエル聖戦はグーシュ・エツィオン入植地交差点付近で行われたパレスチナ若者に攻撃を称賛し、これは西岸地区に対する入植者とイスラエル軍の暴力と攻撃に対する報復だと述べた。

*イスラエル軍：イスラエル軍は、グーシュ・エツィオン交差点で車両突入と殺傷事件を起こしたパレスチナ人2人を殺害したと発表した。

11月18日 7:44pm

*パレスチナ・クロニクル：違法なグーシュ・エツィオン入植地付近で行われた攻撃で入植者1人が死亡し、他に負傷者も出た。その後、イスラエル軍は容疑者のパレスチナ人を殺害し、周辺地域を閉鎖した。

11月18日 7:42pm

*パレスチナ・クロニクル：国連安全保障理事会は米国提案の戦後ガザ回廊統治に関する決議案を昨日採択した。ハマスは「国際信託統治」になるとしてこれを直ちに拒否し、ロシアは「植民地時代の慣行を思い起こさせる」と非難した。

11月18日 4:11pm

¹ 今日西岸地区入植地グーシュ・エツィオンでナイフ攻撃で入植者1人を殺害、3人を負傷させた事件。攻撃者は2人の18歳のパレスチナ人若者で、車で乗り込んだ。2人は治安部隊に射殺された。

*パレスチナ・メディア：アル・アクサ殉教者病院の報告によれば、「イエローライン」の背後にあるアル・ブレイジ難民キャンプの東で、イスラエル軍の銃撃でパレスチナ人1人が死亡した。

*イスラエル・メディア：イスラエル・ベイテイス党のアヴィグドール・リーベルマン党首は、グーシュ・エツィオン入植地事件はネタニヤフ政権の弱さと怠慢の結果だと言った。

*イスラエル・メディア：グーシュ・エツィオンへの攻撃で、1人のイスラエル人が死亡し、2人が重傷を負い、1人が軽傷を負った。

*イスラエル・メディア：グーシュ・エツィオンで車で突っ込んだ3人が射殺された。

*アル・ジャジーラ：元EU外務・安全保障政策上級代表ジョセップ・ボレルはアル・ジャジーラに対し、「イスラエルに対して行動しなければならない。ただ口で非難するだけでは不十分だ。飢餓を武器に利用するのは犯罪で、国際法違反だ。それなのにEU加盟国は依然としてイスラエルに武器を輸出している。ガザ問題解決のためにあらゆる影響力を使うべきだ。昨日の安保理決議を我々が利用して問題解決に向かう出発点にすべきだ」と語った。

11月18日 2:12pm

*パレスチナ・クロニクル：西岸地区のパレスチナの村々は、イスラエル軍の護衛のもとで不法入植者が好き放題暴れる地となっている。この数週間、ライフル銃やこん棒やたいまつを持った入植者が組織的暴徒として、町や村で暴れまわっている。イスラエル軍はその暴徒を取り締まるどころか擁護して、反対にパレスチナ人農民がオリーブ収穫に農園へ行くのを妨害している。[ジャマル・カンジの小論](#)を読みたい。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラのカメラマンのファディ・ヤシンが西岸地区トゥルカレム市でイスラエル軍から脚を撃たれた。

*PFLP：パレスチナ解放人民戦線（PFLP）は、国連安保理決議を拒否する声明を発表した。安保理決議はガザに対する国際後見人機構で、我々パレスチナ人の意思を無視する枠組みはなんであろうと拘束力はないと宣言した。

*パレスチナ・メディア：パレスチナ各派は共同声明を発表し、安保理決議を非難した。決議はガザに対する国際的後見人を構築し、パレスチナ主権を損ない、戦争終結とイスラエル軍の撤退をイスラエル側の都合に合わせるものと非難した。

*国連：最近の豪雨で17,000世帯が被害を受けており、多くの子どもが雨に濡れたテントの中で寒さに震えながら、適切な衣服もなく、寝ており、そのうえ栄養失調と免疫力低下になっている。

*イスラエル・メディア：イスラエル・ベイテイス党のアヴィグドール・リーベルマン党首は、彼が「イスラエルの領土」と呼ぶ地域へ国際軍部隊の駐留は英国の委任統治時代への回帰だと述べ、さらにイスラエル軍へ制限を課すことを非難した。

11月18日 1:32pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエルは南レバノンで民間施設や、車両や、インフラをドローン攻撃し、学校の校長が死亡した。

11月18日 12:57am

*大統領声明：トランプ米大統領は、米国が起草した国際「ガザ和平評議会」設立決議案を「歴史的な」採決で承認したことについて「世界」を祝福すると声明を出した。大統領は自分がその評議会の議長を務めると述べた。

*ハマス声明：ハマスは、国連安保理の決定は、パレスチナ人、特にガザのパレスチナ人の政治的・人道的権利に反するものだと宣言した。これは、ガザに国際的信託統治機構を押し付けるもので、イスラエルが武力で達成できなかった目標を米国と国連が代わって達成するものであると言った。

*チャンネル15：イスラエル政府は国際刑事裁判所のカリム・カーン検察官の解任と、ネタニヤフ首相とガラント前国防相への逮捕状の撤回または凍結を求める要請を出していた。すでに国際刑事裁判所はイスラエルの要請を却下している。

11月18日 12:51am

*パレスチナ・クロニクル：月曜日、国連安保理は米国提案のガザ国際統治計画を承認した。ハマスや抵抗勢力はただちにこの枠組みを拒否した²。

11月17日 8:00am

*パレスチナ・クロニクル：電子インティファダ（EI）によれば、スイス議会の調査の結果、パレスチナ系米国人ジャーナリストのアリ・アブニーマ³が拘束され国外追放された事件は、不正な政治的介入事件、即ちイスラエルと金銭的繋がりがあるスイス高官による不正な介入の結果であることを明らかにした。

*チャンネル12：治安関係高官は、イスラエルは占領地西岸地区の騒乱に関し、「完全に統制力を失う寸前」だと述べた。

*イスラエル・メディア：ベザレル・スモトリッチ財務相は、現在ラファのトンネル内に封じ込められているパレスチナ人戦闘員の殺害を主張し、パレスチナ国家樹立の阻止が自分の使命であるという従来の主張を繰り返した。

*パレスチナ・メディア：バプティスト病院の報告によれば、ガザ市のアッダラジ地区の避難民の避難場所となっている学校付近へのイスラエルのドローン攻撃で、数人のパレスチナ人が負傷した。

*アナドル通信：トルコのエルドアン大統領は、ガザ停戦の維持は必要で、イスラエルの挑発行為にもかかわらず、ハマスは停戦合意を遵守していると述べた。また、占領が続き、パレスチナ人の土地が奪われたままでは、地域の安定は不可能だと言った。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍はガザ市東のアットゥファーフ地区を砲撃した。

11月17日 6:41pm

*パレスチナ・クロニクル：世界で最も有名な弁護団体であるオックスフォード連合協会は、イスラエルをイランよりも「地域安定によって大きい脅威」と宣言する動議を「圧倒的多数」で決定した

*アル・ジャジーラ：エルサレムと聖地を守るイスラム・キリスト教委員会のメンバーであるマヌエル・ムサラム神父は、国際使節団や「和平イニシアチブ」はガザを弱体化させ、その不屈の精神を損なう試みだと述べた。抵抗の武器は奪うことはできず、将来の安全保障を決定するのは力ではなく、説明責任と正義だと主張した。同司祭は米国のイスラエル支援を戦争犯罪とジェノサイドへの共犯と表現し、抵抗運動がイスラエルを国際裁判・国際的孤立・軍事的敗北へと追い込むと述べた。

*イスラエル・メディア：ベエルシェバ副市長シモン・トゥブル氏は、イスラエルは「毎日ガザに進入し、10万から15万人のガザ住民を殺害すべきだった」と述べ、これを「ガザを完全に排除する」機会を逃したと表現した。

*パレスチナ囚人事務所：パレスチナ囚人メディア事務所は、終身刑67回を服役中の囚人アブドゥッラー・バルグーティがギルボア刑務所で深刻な身体的・精神的拷問を受けていると発表した。同事務所は、バルグーティが警備員に犬を伴われて繰り返し殴打され、深い傷や骨折、未治療の骨損傷を負っていると説明し、この状況を「ゆっくりとした処刑」の試みと表現した。

*イスラエル・メディア：チャンネル12は、囚人の遺体移送に関する報道は誤りだとするイスラエル当局者の発言を引用。さらに、昨日アルザイトゥーン地区での捜索中に発見された所持品のみが、赤十字を通じて検査のために引き渡されたと付け加えた。

² ロシアと中国は棄権し、賛成13票で成立。決議はトランプ政権の20項目条項と国際ガザ安定部隊（ISF）派遣も正式に添付されている。これまでの歴史でも、肝心な点でロシア（旧ソ連）と中国はパレスチナを見捨てたことがある。PAやアラブ諸国は決議支持を表明。決議は国際法に基づくものでなく、米の地政学的利益に基づく植民地体制への逆戻りだという識者の批判がある。

³ 電子インティファダの編集長。